

平成18年度第二回人材・技術委員会『若手交流会』実施報告

(中小企業人材確保推進事業)

当委員会では先般、既に恒例となっております材技術委員会参加企業による『若手交流会』を開催しましたので以下にご報告致します。

今年度第二回目テーマは4名の若手側開催責任者が中心となり検討を行い、同一の若手メンバーを中心にした開催では最終回(同一メンバーでは3回が交流会の一つの区切り)という事もあり、各社若手と他社オブザーバーとの今後の交流きっかけとなる事を課題として開催する事で決定しました。

その結果、各社オブザーバーから若手が継承可能な“仕事関連”テーマと、逆に各社若手からオブザーバーが学ぶ事が出来るような“フリージャンル”を2大テーマとしたディスカッション形式で行いました。

開始直後は、若手、オブザーバーとも多少緊張の色が見えましたが、すぐに双方活発な議論となり、終了後はオブザーバーの方々からも勉強になったという声も聞かれました。第二部の交流会と合わせ、各社若手、オブザーバーの交流のみならず、今後の世代を超えた各社交流にも活かす一つのきっかけ作りが出来たと思います。

今後、この若手交流会開催をきっかけに、各社の魅力ある若手の方々が、自身の会社の枠を超え、今後の宮城県情報サービス産業協会を今以上に活性化させて行く事を願ってやみません。

最後に、3月の中旬のお忙しい時期にも関わらず、参加頂いたオブザーバーの皆様及び若手の皆様、本当に有難う御座いました。

今回ご都合により参加出来なかった企業様も、是非次回ご参加頂ければ幸いに存じます。

1. 開催概要

- ・ 実施日時：2007年3月15日(木) **16:30~21:00**
 - 第一部：ディスカッション 16:30~18:30
 - 第二部：懇親会 19:00~21:00
- ・ 開催場所：ホテルユニサイト仙台
- ・ 開催趣旨：オブザーバーとのディスカッションを通し技術面他を学ぶ。
- ・ 参加対象者：人材・技術委員会各企業様リーダー及びそれに準ずる方々(各社1~2名)
- ・ 参加人数：21名(参加企業数10社、若手13名)
- ・ 参加費：無 料

2. 内容

ディスカッション

進行方法：

- Aグループ、Bグループ、Cグループの3テーブルに分け、各々のテーブルに若手4名、オブザーバー2名ずつの配置とし、各テーブル毎に当該ジャンルに関わる、ディスカッションテーマ一覧表より自由に選択しディスカッションを行う。
- ディスカッション対象のジャンルはフリージャンル→技術継承関連の2ジャンルとする。
(今回はフリーディスカッションを目的とする為、特に報告書は求めない)
- 各テーブル毎に選択するディスカッションテーマはいくつでも構わない。
- 制限時間内のディスカッションの後、テーブル毎に各メンバーを入れ替え、再び同様の方式で行う。
- 若手側責任者の役割として、アートシステム荒井様は司会進行、アートシステム五ノ井様、システム・ワン阿部様、コンピュータマネージメント藤田様は各テーブルに分散配置しディスカッションがスムーズに行われなかった場合の進行役を努める。
- オブザーバーとしてのディスカッション参加者：鈴木委員長、ビッツ大森様、コンピュータマネージメント赤松様、システム・ワン高橋様、サイバーコム佐藤貴宏様、ジャパンエンジニアーズ鈴木潤也様

1) フリージャンルテーマ (抜粋)

- ・ 仙台駅の待ち合わせにこれを作ろう
- ・ フルキャストスタジマムのこんな使い方
- ・ 牛タンに続く仙台の味について
- ・ 宮城を引っ張っていくスポーツは何か？
- ・ 仙台の電車の本数はどうすれば増加するのか
- ・ プチプチのこんな使い方
- ・ 携帯電話の新しい利用方法

2) 仕事関連テーマ1 (抜粋)

- ・ 仕事と家庭の両立
- ・ 新入社員の教育について
- ・ リーダーの育成について
- ・ MISAに来て得るべき、得て欲しいものは？
- ・ クレーム対応
- ・ 仕事は自分の為？家族の為？
- ・ 景気回復を何故感じられないのか

3) 仕事関連テーマ2 (抜粋)

- ・ 仕事では静かが良い？にぎやかが良い？
- ・ 理想の勤務形態 (時間、服装等)
- ・ 仕事にやる気が出ちゃう瞬間！！
- ・ イケてるサラリーマン像 (ライフスタイル)
- ・ 出張の愉しみ方
- ・ こんな部下が欲しい

3. 平成18年度第二回若手交流会参加者名簿

参加企業及び参加者一覧（◎は若手参加者）10社21名（内若手8社13名）

参加企業様（順不同）	参加者（敬称略）	所 属・役 職
(株)アテネコンピュータシステム	◎染谷 栄美 ○鈴木 利信	仙台事業部 (当委員会委員長) 代表取締役社長
(株)アートシステム	◎荒井 勝広 ◎五ノ井 琢磨	マネージャー リーダー
(株)ビッツ	◎ 高橋 信也 ◎ 内海 英貴 ○大森 清視	東北事業所 第二システム部 東北事業所 東北事業所 所長
(株)S R A 東北	◎大森 浩	
サイバーコム(株)	◎高橋 直紀 ◎桜田 博志 ○佐藤 貴宏	課長 リーダー 課長
(株)システム・ワン	◎ 阿部 勇雄 ◎ 山路 彰博 ○高橋 貴紀	商品開発部/係長 商品開発部 専務取締役
コンピューターマネージメント(株)	◎藤田 剛 ○赤松 康治	仙台営業所 所長
(株)ジャパン エンジニアーズ	◎ 櫻井 健 ◎ 織田 真梨 ○鈴木 潤也	仙台第一事業所 課長
(有)マインドアクセス	今野 寿道	代表取締役
(株)エスエスイー	島村 新治	仙台事務所 所長

4. 収支報告

収支報告

収 入

中小企業人材確保推進事業助成金 94,000

支 出

会場費 14,000 (2時間)

懇親会費 80,000 (20名*4,000-)

支出合計 94,000

以上

No	今回の若手交流会についての感想・要望	今年度の若手交流会についての感想・要望
1	今までに無い企画だったので面白かったと思う。 この企画の路線を継承するならば、テーマのそろえ方をもっとバラエティーに富んだ具体的深みのあるテーマの方が良かったのかもしれない。※例えば究極の選択を問う状況を設定してみると	
2	与えられたテーマを自分達で選択してディスカッションするということが面白かった。今回のやり方をオブザーバーを入れないで若手だけで行ったらよいかと思う。	来年度もいろいろなやり方で交流会をされたら良いと思います。
3	ディスカッションは非常に良かったと思う。ちょっと話過ぎた事は反省しております。全体的にエンジンがかかるのに時間がかかるのでそこをうまくするといいいと思います。	幹事の方は頑張っていると思います。それが他のメンバーにうまくつながっていけば良いと思います。何事も企画、運営は大変です。それを経験できることも良いですね。
4	企画実施ご苦労様でした。若手の皆さんの努力で実現している分課会ですので、是非とも継続していただきたいと思います。来年度以降も委員会としてもバックアップ致します。	やはり時間的な制約が多いと思われるので3hは必要だと思います。
5	いろいろ準備ありがとうございました。新しい企画でよかったと思います。時間が少し足りなかった様な気がしますが。。。	若手の年齢等がある程度絞った方が良いのかもしれないですね。
6	考えていた雰囲気とは多少違っていたが、宿題的なものが無い今回の様な集まり方は、気楽に参加できるので良いと思う。時間的に足りないと感じられたという事は充実していたという事だと思い	この会をもっとうまく使えるのではないかと考えていますが、具体的なアイデアが結局出ないまま今日に至ってしまった。参加した事によって外部の人達と自分とを比較して見られた事が大きな収穫でし
7	1回のディスカッションでは無く、3回のディスカッションでかつテーマが全て違うと言うことでいろいろな話ができ、良かったと思います。ディスカッションが盛り上がりるとことん話が進む為時間枠が短かったことが残念です。(仕方ありませんが。。)	3回開催と言うことで個人的にはもっと開催数を増やせたらもう少し継続して開催してはどうかと思っています。何か形として残せる物が出来てから、次のメンバーに引き継ぐというスタイルが良いのではないのでしょうか。
8	今回は今までと違い、話をする事に注力できたのが良かったと考える。またオブザーバーの方が加わるることにより、うまく話しを進めてもらえた事で話がうまく進んだり、オブザーバーの方の意見を聞くことが出来てよかった。	若手中心で動くということで回を重ねる毎に緊張もほぐれて良い方向に向かっていると思います。今後もこの方向で進めていただきたいと思います。
9	発表目的で話合うのでは無く、ディスカッションを行ったことで、前回以上のコミュニケーションが図れたと思います。オブザーバーの方のお話が聞けたことでプラスになりました。	この会の流れが、主催がオブザーバーの方で参加する人が若手という状況から始まり、徐々に(オブザーバーと)若手側が主催という形に変化してきた事が良かったと思います。平成18年度のこの会は、人とのつながりというものが感じられてかなり成功だったと思います

10	各回の初めの部分では思った以上に話が進まずに苦労しましたが、時間がたつに連れて盛り上がりを見せ充実した討論が出来たと思います。むしろオブザーバーの方が柔軟なアイデアを出してくることがあり驚かされました。全員が他の新で討論が出来たのではないかと思います。	若手側幹事をさせて頂き、いろいろなことを勉強させていただきました。一番感じたのは、期間が空くと話が盛り上がるまでに時間がかかるということです。若手側幹事はかなりマメに会っていたのですが、他のメンバーも開催を簡易的にして、短い期間に数回行えると良いのではないかと思います。
11	今までの中では非常にやり易いスタイルではなかったかと思いません。まったくテーマが無い所からはじめるよりも、選択肢があって決めやすかったと思います。オブザーバーの方も参加することで若手の想いもぶつける事が出来、オブザーバーの想いも伝えることが出来たのではないかと思います。	若手交流会として開催するにはちょっとスパンが長い様な気がしました。もう少しスパンを短くするか、間に何かあると良いと思います。(例えばフリートークでの飲み会、スポーツなど)
12	オブザーバーの方々の意見も聞くことが出来、非常に有意義な時間でした。テーマ1つにも様々な見解があり時間が足りないくらいでした。	何度が交流を交えさせていただき、この一年色々な会社の方々と知り合う事が出来ました。各会社様の文化にもふれる事が出来、会社間のつながりを今後も大切にしていきたいと思います。
13	普段話しをする機会の全く無い方と話ができてとても良い機会を持ってました。緊張してしまい話せなかったりもしましたが、今後ともこういった機会があればもっといろいろな方々と交流を持ちたいと思います。	若手だけでなくオブザーバーの方々のお話を伺うことができてとても良かったと思います。どうしても一方的に聞く側になってしまいがちですが、今回の様にディスカッション形式で相互に話ができるということは、とても貴重な機会だと思います。ありがとうございました。
14	初参加となりますが、交流会という会合としてはディスカッションはとても良いアイデアと思います。参加者の立場を考えるとリーダークラスが多いため、ヒューマンスキル(コミュニケーション能力)を養うという意味で非常に有効だと思いますので今後も続けていって欲しいと考えます。	「若手」としては年齢が高いと聞いていましたが、同年代が多く、ある意味ほっとしています。これを機にヒューマンネットワークを広げて行きたいと思います。次回も機会があれば参加したいと思えます。
15	ディスカッション結果をまとめて報告することがあっても良いかと思いました。テーマが多過ぎた様に思えます。オブザーバの方々の位置が同じ目線で…と意識しきれなかった。テーマが当日その場で決めるという手法は良く感じた→決定するパワー、統率などが今後役に立つかも	もっといろいろな会社の方々が参加しても良いと思います。(結構限られた会社で実施している様にみえました)成果物を持って、それを推進する(企業や委員会に寄与するような目標、目的を持った会があっても良いと思った。
16	他社の環境や雰囲気など生の声を聞け刺激になった。若手だけのディスカッションに比べ良い意味で緊張感があり”ハリ”のあった意見交換ができた	開催の間隔がもう少し短ければより活発に出来たのではないかと感じた。
17	思った以上に盛り上がり、オブザーバーの方と接する機会ができて、非常に刺激的で良かった。初めのテーマを決める事が結構難しく、これもひとつの課題(今後のテーマ)になるかもと思いまし	今回は幹事としてより積極的に参加することができ本当に良い経験となった。今後も今回知り合えたオブザーバーの方や若手の方と関係を保ちさらに広げて行ける様に頑張っていきたいと思う。

今回の若手交流会についての総括	今年度の若手交流会についての総括
<p>今回の若手交流会についてのアンケートでは、以下の「良かった点」「改善すべき点」があがっていた。</p> <p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに無い企画だったので良かった。(ディスカッション形式) ・いろいろな意見を聞くことが出来て話も盛り上がった。 ・オブザーバーの方のお話が聞けたことでプラスになった。 <p>【改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が足りなかった。 ・「テーマ決め」が難しかった。 <p>時間が足りないという部分に関しては、アンケートにもあったが、それだけディスカッションが充実していたという事だと思う。今回は答えを出すことでは無く、話をする事が目的であったのでそういった意味でも問題は無く逆に成功だったのではないかと感じる。ただ「テーマ決め」に関してはどこのグループでも苦戦していた様で、そういった部分を今後の新たなテーマとして検討するのも面白いと思う。</p> <p>今までに無い企画で挑んだ今回の若手交流会であったが、今まで(全3回)の中では一番盛り上がった若手交流会であったと思う。また今回オブザーバーの方もディスカッションに参加して頂いたのだが、若手にとっては若手だけでは無く、オブザーバーの方との交流会ともなり、様々な意見が交換でき非常に得るものが多かったのではないと思う。</p> <p>今後もこういった形で若手だけでなく、オブザーバーの方も含めた</p>	<p>今年度の若手交流会についてのアンケートでは、以下の「良かった点」「改善すべき点」があがっていた。</p> <p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部の人達と自分とを比較して見られた事が大きな収穫だった。 ・各会社様の文化にもふれる事が出来た。 ・人とのつながりというものが感じられた。 <p>【改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間隔が空き過ぎた。 ・回数が少なかった。 <p>改善すべき点としては、やはり「間隔が空き過ぎ」「回数が少ない」が非常に多く、やはり若手のほとんどがこの機会を大事だと認識し積極的に参加すべき場と考えているのだと感じられた。</p> <p>また、良かった点としては他社の文化に触れることの出来た。人とのつながりを持つことが出来たなどが多く、今後も続けたいという意見がほとんどであった。今後はオブザーバーの方々に機会を作っていただけでなく、自分達でこういう機会を作って行き、宮城県を盛り上げていこうという気持ちがこの交流会で植えつけられたのではないと思う。</p>